

後援は2種類あります 別々に申請します

A

大治町（町長）の後援

様式	後援名義使用申請書（様式第1号） town.oharu.aichi.jp/secure/5434/1925_koen_shinsei.pdf
宛先	大治町長 殿
添付	開催要領等
窓口	役場代表 052-444-2711（担当課は要確認）

B

大治町教育委員会の後援

様式	後援名義使用承認申請書（第1号様式） town.oharu.aichi.jp/secure/5434/1925_kyoiku_shinsei.pdf
宛先	大治町教育委員会 殿
添付	規約／会員名簿／開催要領／事業計画書／ 参加料を取る場合は収支予算計画書
窓口	社会教育課 052-443-2671 （FAX 052-443-4950） ※子ども向けなら、ここが相談先

△ **承認が下りる前に、チラシの「後援」欄に名前を書いてはいけません。**教育委員会の様式に、はっきりそう書かれています（「**印刷物を作成する場合、大治町教育委員会の承認以前に、後援欄へ記入しないこと**」）。チラシ①の入稿が12月上旬なので、**それまでに承認を取る**必要があります。

終わったあとも、提出があります。後援事業実施報告書（第5号様式）＋**作ったポスター・チラシ**。参加料を取った場合は収支決算報告書も。

どちらに出すか迷ったら、両方。子ども向けで地域の催しなら、町と教育委員会の**両方の名前が並ぶ**のがふつうです。まず社会教育課に相談を。

大治町の規模（参考）

人口 33,698人／15,345世帯（令和8年10月1日・町公式）。一宮市の約1/10。**小さなマルシェがちょうど合う**規模です。

欄	書き方のコツ	そのまま使える文案
申請者 住所	団体の所在地	愛知県一宮市〇〇〇〇〇
団体名	正式名称	マルト
代表者氏名	代表者	秋柄 由香利
連絡先	日中つながる番号	TEL（ ）ー
事業名	チラシに載せる名前と同じにする	結マルシェ in 大治 —— 小学生の「ゆめさがし」の一日
事業の趣旨	ここで決まります。教育委員会は教育上の意味を見ます。「集客」「PR」「売上」は書かない	小学生が、地域ではたらく大人に直接出会い、その仕事に触れることを通して、自分の将来について考えるきっかけを得られる一日をつくる。 学校では職業について学ぶ機会はあるが、実際にはたらく人と言葉を交わし、その手元を見て、やらせてもらう機会は多くない。本事業では、町内および近隣の事業者の方に来店・体験ブースの形で参加していただき、子どもが「見て、聞いて、やってみる」ことのできる場を設ける。 あわせて、保護者や地域の方が一緒に過ごせる場とすることで、世代を越えた地域のつながりづくりにもつなげる。
主催	共催があれば並べる	マルト （共催： ）
開催期日	日付と日数	2027年 3月 28日 ～ 2027年 3月 28日（1日間）
開催場所	正式な施設名	（会場が決まりしだい記入。 11月8日まで に仮押さえ）
後援依頼先	ほかにどこへ出しているか	大治町、大治町教育委員会、大治町社会福祉協議会（予定）
後援による 事業効果	後援が付くと何が良くなるか。周知と信用の話を書く	町および教育委員会の後援をいただくことで、 町内3つの小学校を通じた児童・保護者への案内が可能 となり、より多くの子どもが参加できる。 また、主催者および参加いただく事業者の信用が高まることで、地域の事業者の協力が得やすくなる。
事業概要	当日の中身。時間と内容	2027年3月28日（日）10:00～15:00（予定） ・ はたらく人に会えるブース （16～25店）...町内・近隣の事業者による来店。道具にさわる／つくってみる／質問するコーナーを各ブースに設ける ・ しごとインタビュー ...子どもが大人に直接たずね、話を聞く時間 ・ ステージ ...地域団体・子どもによる発表 ・飲食の来店
参加者数	見込み。根拠を聞かれても答えられる数に	500～800人 （うち小学生とその家族を中心に見込む）
参加資格等	誰でも来られるか	どなたでも参加できます（事前申込不要。小学生とその家族が中心）
参加料等	正確に書く。無料と書いて実費があると、あとで問題になる	0円 （入場無料） ※飲食・一部の体験は、出店者による実費販売があります

この人数だと、ここが変わります

小さめのマルシェ（10～15店）の想定から、**一段上がります**。
先に決めておかないと、当日まわりません。

数の目安

出店数	16～25店 来場者1店あたり30～40人が目安。10～15店だと、人は来るのに 並ぶだけの一日 になります
ボランティア	20～30名 受付・誘導・ステージ・ゴミ・迷子・救護・駐車場。人が増えるほど 誘導 が要ります
会場の広さ	出店ブース＋通路＋休憩＋ステージ。人が 滞留できる余白 が要ります。狭いと危ないです
協賛の目標額	規模が上がるので、会場費・保険・印刷・備品も上がります。 先に見積もって から目標額を決めます

500人を超えると、安全の話が変わります。迷子・ケガ・混雑の対応を、**紙に書いて全員に配る**必要があります。「誰が、何分以内に、誰に連絡するか」。ここは後援申請でも聞かれる可能性があります。

先に決めておくこと

01

会場（11月8日まで）

500～800人が入れて、**駐車場があり、雨天時に動かせる場所**。学校の体育館・グラウンド、公民館、公園などが候補です。**学校を使えるなら、教育委員会の後援とセットで話が早くなります**。

02

何種類の仕事を見せるか

「夢を探す」なら、**仕事の種類に幅**が要ります。食・ものづくり・医療・福祉・建設・美容・運動・動物など。同じ業種が並ぶと、子どもにとっての選択肢になりません。

03

子どもの写真の扱い

小学生が主役なので、**ここは必ず先に決めます**。受付で掲示するか、腕章やシールで分けるか。断られた子が**目立たない方法**にするのが大事です。

04

学校への案内の出し方

後援が取れたら、**3校へのチラシ配布**をお願いできます。これが集客のいちばん太い導線です。**学校の配布には締切がある**ので、電話のときに一緒に聞いてください。

逆算スケジュールの「規模」を『ふつう（16～30店）』に変えてください。小さめのままだと、準備期間が足りません。道具のほうで選び直すと、日付が自動でずれます。

01

締切はいつですか

開催の**何日前まで**に出せばいいか。「1か月前まで」「2か月前まで」と決まっている自治体が多いです。これが**いちばん大事**。

02

承認まで何日かかりますか

チラシの入稿が**12月上旬**なので、それに間に合うかを逆算します。教育委員会の会議にける場合、**月1回しか決まらない**ことがあります。

03

町長の後援も出したほうがいいですか

両方出すのか、どちらか一方でいいのか。両方なら、**窓口も様式も別**になります。

04

規約と会員名簿は必須ですか

様式に添付書類として書かれています。**マルトは任意団体**なので、どこまで必要か確認します。なければ、簡単な規約を作って出す形になります。

05

提出は持参・郵送・電子のどれですか

役場は**平日の日中のみ**です。持参なら、ゆかりさんの予定を先に押さえる必要があります。

06

チラシの後援表記は何と書きますか

「後援：大治町教育委員会」でいいか、正式な書き方を確認します。**表記が違うと刷り直し**になります。

07

完了報告の期限はいつですか

開催後、**何日以内**に報告書を出すか。チラシの現物も提出するので、**当日分を数部とっておく**必要があります。

電話の前に、これだけ決めておいてください。

- ① 開催日（3月28日） ② 会場（未定なら「調整中」と伝える） ③ 入場無料であること ④ 主催がマルトであること
—— この4つが言えれば、あとは向こうが教えてくれます。

締切が分かったら、逆算スケジュールに入れ直します。 いまは「10月29日」で仮置きしています（開催日の150日前）。実際の締切が早ければ、全部前倒しになります。—— 電話のあと、聞いた内容をそのまま送ってください。